

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／プロダクトデザイン専攻											
基礎デザイン実習C											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	佐藤 知美			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
授業概要											
この授業では、基礎的なプロダクトデザインの製図の技術を修得します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つ製図の知識と技術を学び、製図用具の正しい使い方と三面図の理解と製図の方法を身に着けるようになります。プロダクトデザインの「製図」に関連する知識と技術を理解し、デザイン提案をする際に必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのが狙いである。											
到達目標											
学生がプロダクトデザインの基礎製図を学び、製図規格・用具・製図法・図法・寸法・作例・実例のカテゴリーからプロダクトデザインの製図を理解して、社会で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的に 図面の概念、図面の種類、製図用具の使い方、線の練習して、三面図の製図ができるようになることを目標にしている。											
授業方法											
授業内容としては、教科書の内容に沿って講師からの解説を受けます。製図道具の使い方から線の種類、図法、作例のトレースと段階的に基礎的なプロダクトデザインの製図をする授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「プロダクトデザインの製図力」を育成していく。毎回資料を配布し、資料に沿った解説をする。問題演習を実施し、解答後に正解の提示と問題の解説を行う。											
成績評価方法											
理解度 平常点	50% 50%	提出課題完成度を総合的に評価する 授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
学生に基礎的なプロダクトデザインの製図から、プロダクトデザインに触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。作図の仕方、表現法を知り、今後、現場で求められる 3 D C A D の修得に推移を考えた前段階の実習になります。ただし、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
教科書教材											
教科書：プロダクトデザインのための製図 参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	【図面の概念 製図用具の使い方】図面の概念を知る										
第2回	【線の種類】線の種類を把握する										
第3回	【三面図作成(ブロック)】各種ブロックの三面図を把握する										
第4回	【三面図作成(ブロック)】各種ブロックの三面図を把握する										
第5回	【三面図作成(ブロック)】各種ブロックの三面図を把握する										
第6回	【三面図作成(ブロック)】各種ブロックの三面図を把握する										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科/プロダクトデザイン専攻	
基礎デザイン実習C	
第7回	【スツール - 三面図】 作例スツールを製図する - 三面図について理解する
第8回	【スツール - 三面図】 作例スツールを製図する - 三面図について理解する
第9回	【コーヒーカップ - 三面図】 作例コーヒーカップを製図する - 三面図について理解する
第10回	【コーヒーカップ - 三面図】 作例コーヒーカップを製図する - 三面図について理解する
第11回	【家電製品 - 三面図】 作例家電製品を製図する - 三面図について理解する
第12回	【家電製品 - 三面図】 作例家電製品を製図する - 三面図について理解する
第13回	【テーブル - 部品図】 作例テーブルを製図する - 三面図について理解する
第14回	【テーブル - アセンブリ図】 作例テーブルを製図する - 三面図について理解する
第15回	【すべての図面完成】 全体のまとめ